



雪崩・地すべり 研究センターたより

季刊・第60号
2012. 3月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・融雪地すべり災害の発生 ・トピックス（積雪観測講習会、土研新技術セミナー、雪崩危険斜面の点検・調査、秋田県仙北市玉川温泉雪崩災害調査、ゆきみらい2012 など） ・転出者あいさつ

融雪地すべり災害の発生



新潟県上越市板倉区国川地区（新潟県撮影）

3月7日に、新潟県上越市板倉区国川（こくがわ）で融雪地すべり災害が発生し、住宅など11棟が損壊しました。地すべりの規模は長さ500m、幅150mであり、移動距離が約250mに達する流動化した地すべりでした。当センターでは、新潟県の依頼により3月8日から野呂所長、丸山、木村、中村が応急対策について技術支援をしました。

トピックス

■積雪観測講習会

2月6、22、23、24日に当センターにおいて、新潟県の職員などを対象に積雪観測講習会を開催しました。この講習会は、雪崩災害の防止に役立ててもらおうと開催したものです。室内で積雪の基本的性質及び積雪観測方法に関する講義を受けた後、当センターの構内で積雪観測の実習を受けていただきました。



■土研新技術セミナー

土研新技術セミナーが、2月1日に東京で開催されました。このセミナーは、土木研究所の新技術の中でコスト削減や工期短縮等の効果が高く、活用のニーズが高いと思われるものについて、その技術分野の最新の動向等を講演するとともに、適用するために必要な技術情報等を提供するものです。今回のセミナーは土砂災害に関する技術でした。当センターからは、丸山が「加熱式地下水検層法」と題して発表しました。加熱式地下水検層法は、当センターが開発した地すべり地の地下水流動層を調査する方法です。



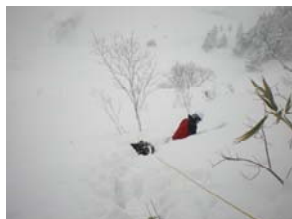
■雪崩危険斜面の点検・調査

新潟県妙高砂防事務所管内における雪崩危険箇所での点検・調査が、2月1日に行われました(写真)。当センターからは、野呂所長、伊東、池田、中村が関係機関からの依頼により合同の点検・調査に参加しました。また、2月7日には妙高砂防事務所から妙高市燕温泉で斜面の雪に亀裂が発生し雪崩が発生する恐れがあるとの連絡があり、関係機関と合同で現地調査を行いました。



■秋田県仙北市玉川温泉雪崩災害調査

2月1日に、秋田県仙北市玉川温泉で3名が死亡する雪崩災害が発生しました。当センターでは2月3~4日に池田と中村が現地に出掛け、雪崩発生地点及び流下経路の調査と雪崩発生地点における積雪断面観測(写真)を実施しました。この調査速報は、当センターのホームページに掲載されています。



■ゆきみらい2012 in 金沢「ゆきみらい見本市」

金沢市でゆきみらい2012 in 金沢「ゆきみらい見本市」が、2月2日~3日に開催されました。「ゆきみらい」は、克雪・利雪技術の課題や研究、雪に強い街づくり、雪国の自然環境・歴史・文化の継承など、ハード、ソフト両面にわたる様々な取り組みに対する意見交換や情報交換、ならびに全国へ雪国の情報発信を行うことにより、雪国の未来を展望し、地域の活性化を図ることを目的として開催されています。当センターでは、雪崩・地すべり研究センターにおける雪崩関連研究の紹介として、パネル展示と技術資料等の配布を行いました。



■道路吹雪対策研修会

「道路吹雪対策研修会」が、2月8日に新潟県上越市上越地域振興局で開催されました。この研修会は、改訂された道路吹雪対策マニュアルについての解説等により道路管理技術力の向上化を図ることを目的としたものです。当センターの伊東が、「道路防雪対策について」と題して講演をしました。参加者は、上越地域振興局の職員33名でした。



■関東地方整備局「技術エキスパート研究会」と土木研究所の開発技術に関する意見交換会

3月5日に、砂防分野についてさいたま市の関東地方整備局で開催されました。この会は、土木研究所で開発した技術を現場技術者に紹介し、意見交換を行うことを目的としています。当センターからは、丸山が、地すべり調査に用いる「加熱式地下水検層法」を紹介しました。



■転出者あいさつ

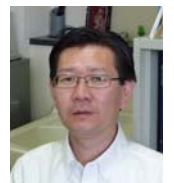
■主事 阿部 悦

平成24年3月末日で最後の勤務となりました。長い間お世話になりました。ありがとうございます。たくさんの方々と出会い、楽しく、厳しく過ごさせていただきました。これからは、10年前から始めたテニススクールで汗を流し、介護施設で100才の元気を分けてもらおうと考えております。研究センター、地域の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたしまして、お礼方々退職のご挨拶とさせていただきます。



■交流研究員 中村 明

3年間交流研究員としてお世話になりました。在任中は、地震と地すべりの関係についての研究や当地域特有の融雪地すべりの調査や雪崩の調査に携わることができ、大変、有意義な経験でした。



今後も当センターでの経験を生かし、自然災害の防止・軽減のために研鑽していきたいと思っております。大変お世話になりました。

雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますので、ご覧下さい。

発行：独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL: <http://www.pwri.go.jp>
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。

